

こくりにゅうだよ



12月号

大阪府立池田高等学校 2年 森 智弘
「Merry X'mas_____」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



多文化フェスティバル

12月16日(土) 10:30~12:30

自分と同じように外国につながりを持つ友だちや仲間たちと一緒に遊ぼう!



会場: すてっぷホール(エトレ豊中5階)

対象: 外国にルーツを持つ小学生~中学生とその友だち

参加費: 無料

申込: 12月10日(日)までにメール・電話・来館にて受付

とよなかシネコン

「マيسモールランド」

1月14日(日) 14:00~16:00

※13:45~開場

在日クルド人の少女が、在留資格を失ったことをきっかけに自身の居場所について葛藤する姿を描いた映画。

定員: 50人(申込先着順)

費用: 無料

申込: 電話、来館、メールにて
申込。



【報告】外国にルーツを持つ子ども・若者の サッカー交流会 を開催しました！

10月14日（土）、マリノード豊中マルチグラウンドにて外国にルーツを持つ子ども・若者向けのサッカー交流会を開催し、40名が参加しました。

当日はゲストに元サッカー日本代表の本田泰人さん、岡野雅行さんをお迎えして、一緒に交流試合を行いました。サッカー経験者も未経験者も楽しく体を動かし、交流タイムでは初対面同士でも歓談でき、出会いの場となりました。当日通訳スタッフとして参加したシブ・クマールさんは「自分も楽しめたし、参加した人たちが楽しんでいるのを見てすごく嬉しかった。今までで一番楽しくサッカーができたと言っていた子もいた。これからは定期的にスポーツを通じて交流できる場をつくりたい。」と語ってくれました。

ゲストの本田さんと岡野さんは、参加者からのサインや写真撮影のお願いにも快く応じてくださり、「みんな上手くてびっくりしたし、自分もとても楽しかった。このような機会があればまたぜひ参加したい。」と感想をいただきました。スポーツ交流は初めての試みでしたが、屋外での活動をこれからは積極的に企画していきたいと思っています。（事務局次長・山本愛）



年齢差を越えて楽しみました。
中央右がシブさん



右より：長内市長、本田さん、
岡野さん、当協会理事長



参加者全員で記念撮影

【報告】とよなか国際交流協会・国際交流センター設立30周年記念講演 「世界を食べよう！～食を通して人はつながる」

10月9日（月・祝）、料理研究家のコウケンテツさんを講師にお迎えし、とよなか国際交流協会ならびにとよなか国際交流センターの設立30周年記念講演を開催しました。

長内繁樹豊中市長のご挨拶から始まり、当協会の常務理事兼事務局長の山野上隆史より協会とセンターの30年を簡単に振り返るお話をさせていただきました。

今回のイベントのメインとなる『世界を食べよう！～食を通して人はつながる』と題した講演では、韓国出身のご両親や家庭での食生活など、家庭料理の研究家となった原点ともなるコウケンテツさんご自身のルーツのお話から始まり、テレビ番組でアジア、ヨーロッパの様々な国を訪れ、そこで出会った人々や食文化のお話、今回の講演のために特別にご用意いただいたレシピの紹介など、盛りだくさんの内容でお話いただきました。食や文化を知るだけでなく、異なる文化の受け入れ方、多様な人とともに生きるために大切なこと、自分自身を大切にすることなど、多文化共生社会を築くために大切なエッセンスが全編を通してちりばめられており、あっという間に講演終了となりました。

参加者アンケートからは「食を通じて異文化を知ることの大切さを改めて感じた。」「家事、仕事、周りの人や国に対しての気づきやヒントを教えていただき、元気をいただきました。尊重する大切さを忘れず、過ごしていきたい。」「自分も外国人としてたくさん共感できました。」「お料理のことがきけるかなと思ってきましたが、人が生きることの大事なことに



講師のコウケンテツさん



講演前に館内をご案内しました



長内市長のあいさつ

つながるお話が
きけてすごくよ
かった。」と
いった感想が寄
せられました。

（協会職員・
山根絵美）

協会事業（哲学カフェ、プロジェクト“まんかふえ”等）に参加していた辻明典さんが、2013年度より故郷である福島県南相馬市に戻り、教員をしています。辻さんからの福島からの便りをどうぞ。

福島第一原子力発電所でたまり続けている、放射性物質トリチウムが含まれた「処理水」。ついに太平洋へ「処理水」が放出された。以前にも書いたけれど、これは僕の住んでいる地域で、現在進行形で起きている、「処理水」をめぐる課題だ。（「処理水」とは言うが、「汚染水」とは言わない。）

「・・・政府を挙げて国内外において、丁寧に説明・発信を行ってまいりました。」

「丁寧に説明」は、政治の常套句である。かいつまんで申し上げるならば、データを提示することで、客観性や科学性を強調し、繰り返し、説明をする、ということであろう。

福島県の沿岸部に住んでいながら（自転車で移動すれば、海が目える場所まですぐにいける）、私は実際に「丁寧な説明」を受けた記憶が全くないので釈然としないが、きっと「丁寧な説明」は、いたるところでなされているのであろう。それでもなお、政治への不信感が渦巻いているのは、なぜなのだろうか。それは、単刀直入に申し上げて、政治が信頼されていないからだだろう。そして国から、市民の声を聴くに値しないとみなしている姿勢が、垣間見えるからだだろう。

信用していないのに、信頼してくれというのは、無理な注文である。

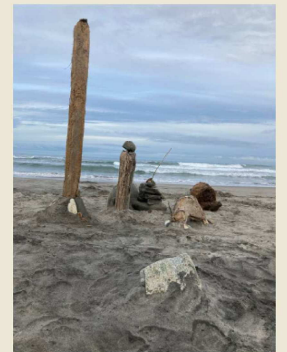
双葉郡に住んでいたある方に、こんな話を聞いたことがある。原子力発電所ができてから、これまで採れていたはずの魚や貝が、とれなくなってしまった。あれほど巨大な建造物は、海の生態系まで変えてしまうのだらう、と。

海岸線のそばを走れば、山は削られ、土が積み重ねられ、巨大な要塞のような道路が、新しくではじめている。海のそばだけではなく、削られた山にも、太陽光発電のパネルが続々と並びたち、もともとの自然が技術によって蹂躪されるかのようである。

積み重ねられた歴史の先に、現在がある。原子力発電所の建設は海の生態系を崩し、原子力発電所の事故は故郷の喪失を招き、現在は太陽光パネルが海沿いの風景を一変させている。

白砂青松の海岸線が、国家の論理に翻弄され、土地は変わり果てた姿となり、風景が目まぐるしく変えられる日常のなかにいれば、人々の心の動きはどうなるのだろうか。急かされるように土地の姿が変わる日常が当然となれば、「処理水」（もとい！「汚染水」）をはじめ、「私たちの暮らし」について立ち止まって考える暇すらも無い。私たちの話を聞こうともせず、せかされるような日常を強いる国家の主張など、信用に値すると言えるのだろうか、といった心理が生まれるのは、当然の帰結ではないかと思わざるを得ない。

渦巻く不信は、社会に影を落とす。その影は、いずれ私たちを覆うだろう。影は表情がない。だからこそ、目をこらして見なければならない。



処理水が放出された後に海岸線を歩いていたら、誰かが作ったのでしょうか、オブジェのような物を見つけました。

今後のイベント情報 ※とよなか国際交流センターで開催します。



多文化フェスティバル
12月16日(土) 10:30~12:30



「多文化フェスティバル」は2006年度から、豊中市教育委員会と学校現場との連携のもと、在日・帰国・渡日の多文化な背景をもつ子どもたちが主役となって活動できる場を地域から創造する試みの一つとして始まりました。今年度も外国につながる子どもたちが集まり普段なかなか出会うことのない仲間たちと交流する場として開催します。

ボランティアや学校の先生たちが、様々な遊びやゲームを体験できるブースや仕掛けを準備しています。ご参加お待ちしております。お楽しみに！

※詳細は表紙ページ下部のイベント欄をご覧ください。

2023

12月

の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。

記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
27	28	29	30	01 金あさ にご相談 こんぱす	02 たまりば 相談 国際交流フェスタ 10:00~15:00	03 がちゃ 庄内 貸室抽選会
04 もっ と 相談	05 おやこ 相談 こんぱす	06 休館日	07 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	08 金あさ にご相談 こんぱす	09 相談	10 がちゃ 母語 サンプル 庄内
11 もっ と 相談	12 おやこ 相談 こんぱす	13 休館日	14 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	15 金あさ にご相談 こんぱす	16 つと 相談 多文化フェスティバル 10:30~12:30	17 がちゃ サンプル 庄内
18 もっ と 相談	19 おやこ 相談 こんぱす	20 休館日	21 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	22 金あさ にご相談 こんぱす	23 相談	24 がちゃ 母語 サンプル 庄内
25 もっ と 相談	26 相談	27 休館日	28 相談	29 ← 12/29~1/3 休館 →	30 12/29~1/3 休館	31 →

◆赤字表記の活動については、活動内容を変更している場合があります。詳しい情報については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日…	もっ ともっ とつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日…	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日…	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンライン日本語	13:30~15:20 13:30~15:30 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日…	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日…	韓国・朝鮮のことばとあそびのつと ※毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 若者のたまりば※第1土曜日のみ	9:30~11:30 11:00~16:00 13:30~16:00
日曜日…	にちょうがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプルイス 庄内にほんご(庄内コラボセンターで実施)	10:00~12:00 10:00~12:00 13:00~15:00 13:00~15:00

今月のピックアップ

12月16日(土) ~ 2024年1月27日(土)
とよなかシネコン

2020年度より、複数の市内公共施設と協働で開催してきたとよなかシネコン。「このまちが、映画館になる日。」をキャッチコピーに、今年度は5つの施設で6作品を無料で上映します。(一時保育は有料です)

ご来場いただいた方は、各上映作品ごとに1人100ポイントのマチカネポイントがもらえます。映画鑑賞を通して社会課題について知り、考えてみましょう!

※当センターでは「マيسモールランド」を上映します。
詳細は表紙ページ下部のイベント欄をご覧ください。

とよなか国際交流センターおしらせ

「こくりゅうだより」第176号(2023年12月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会

住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間:9:00~21:30(水曜休館)

TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

